製-配-販をつなげて取り組む食品ロス削減策

ACSESS

株式会社 日本アクセス



株式会社日本アクセス 会社概要

ACSESS 日本アクセス



会社名

住所(本社所在地)

創立

設立

事業内容

株主

資本金

年間売上高

社業員数

株式会社日本アクセス

〒141-8582 東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー

1952年10月1日

1993年10月1日

食品、水産物、農産物、畜産物、花卉等の販売・ 輸出入・買付・加工・商品企画・開発・品質検査・

分析業務及び貨物自動車運送事業、

食品安全コンサルタント業務、情報処理サービス業務

伊藤忠商事株式会社 100%

26億2千万円

2兆1,203億円(2021年度·連結)

3,921名(2022年3月末現在)※連結の就業人員

●その他会社情報の詳細は下記弊社ホームページをご参照ください。



JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン・りんかい線 「大崎駅」南改札口・新西口方面より徒歩約6分



https://www.nippon-access.co.jp/

会品ロス削減に対する 当社のアプローチ

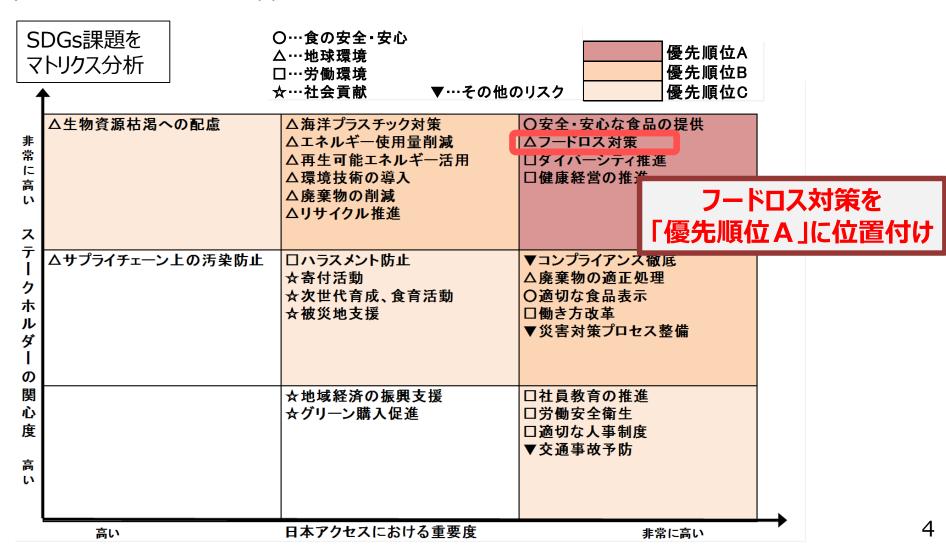




最重要課題の一つに位置付け

ACSESS 日本アクセス

2020年4月に会社として「SDGs宣言」を行い、食品を扱う企業の社会的責任としてフードロス対策をSDGsにおける最重要課題の一つに位置づけました



長期目標の設定



SDGsターゲット12.3に合わせ、2030年までの食品廃棄物排出量の目標を「2016年度比 50%削減 に設定しました

2030年度目標

食品廃棄物排出量 2016年度比50%削減

2016年度 **753ton** ⇒

2030年度 **376ton**

※SDGsターゲット12.3 ・・・ 2030年までに小売・消費レベルにおける 世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生 産・サプライチェーンにおける食品口スを減少させる。



削減目安の作成



社員各自が取り組みやすくするため、「具体的に年あたりどれだけ減らせば良いか」を逆算し、「毎年4%削減」の目安を作成しました(2020年時点)

	実	績	予	測	•		
年度	2016	2019	2020	202/	2029	2030	1
食品廃棄物 排出量(ton)	753.0	587.0					
前年比		97%					4
対2016年度	100%	78%				50%	<i>i</i>

	実	績	予	測			
年度	2016	2019	2020	2021	2029	2030	
食品廃棄物 排出量(ton)	753.0	587.0	563.5	5 0	390.3	374.6	
前年比		97%	96%	96%	96%	96%	
対2016年度	100%	78%	75%	729	52%	50%	

逆算

2030年の50%目標を達成するためには、、

「毎年4%」減らし続ければ達成可能!



- ・社員への啓蒙
- ・アクションプラン等の目標数値 に使用

社員への啓蒙 その1



様々な方法で社員への啓蒙を行い、「全社活動としての食品ロス削減」の浸透を図っています

社内イントラの専用コーナーで発信

サステナ通信

活動報告

► 2020.11.18 Vol.2



サプライチェーンイノベーションプ

埼玉支店 フードパントリーネットワークへ寄贈

社内SNS専用ページで発信



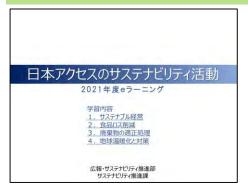
社内イントラ、社内SNSに専用コーナーを設け、様々な情報を発信

社内報で発信



社内報で食品ロス削減特集記事

全社員必須のe-ラーニング



毎年度実施。2021年度迄3年連続で 「食品ロス削減」をメインテーマにした

専門家を招聘し講演会開催



過去5年間で食品ロス削減のテーマで2回開催。 先進的な事業者、リサイクル業者、行政担当 者、業界団体より講師を招聘

リサイクル工場の見学会開催



過去5年間で3回開催。環境汚染の少ない「リキッド飼料」のリサイクル工程を見学

社員への啓蒙 その2



全社で食品廃棄、リサイクル実績を共有し、各拠点でレベルアップを図っています

食品廃棄、リサイクル実績報告(サンプルの一部分)

全祥 202	年度	4-3 <u>月</u>	食品的		サイクス	実験	(黄杏)	F因を除 ぐ	()					
	9121	Delik+isra	goos.		関制量の公		*	1)是商集	5)	9	0-000489-	58	344	クルギ
	SERVICE STREET	知時度	BIRTIC	SERVICE STREET	細構度	BIRTIC	NAME OF	2021年度	前年比	SERVICE .	SOURCE,	BIRTH.	SERVER.	2021年度
東北エリア	31.83	37.01	101.31	8.70	630	63.89	28.10	30.61	122.7%	15.66	20.86	1031	41.01	71.2
関係第1エリア	103.46	10.70	115.01	23.76	20.70	67.00	68.70	96.03	139.8%	18.0	86.00	181.85	86.5%	100.05
関係第2エリア	67.86	10.10	100.01	6.20	7.80	1865.25	63.10	75.07	119.0%	59.51	20.00	105.89	94.3%	99.8
中部エリア	62.66	22.60	180.01	2.10	1.10	258.00	38.20	72.10	166.3%	26.60	79.10	268.25	70.0%	100.05
近級エリア	6.7	70.01	118.85	21.81	31.10	10.0	38.84	40.82	102.2%	30.67	30.47	107.00	\$1.81	74.6
中西国エリア	42	81.33	128.01	18.57	21.36	109.09	6.8	62.66	152.75	30.73	61.6	179.00		97.7
九州エリア	68.25	73.46	150.00	1.00	28.58	200.00	38.36	43.88	11445	27.60	38.36	101.70	70.0%	52.9
広域(FM)	505.49	208.04	28.89	307.63	8.50	6.00	308.07	198.45	60.55	300.10	194.70	60.69	88.2%	96.19
広域(TPL)	1.00	1.00	178.00	0.00	0.00		1.00	9.48	176.9%	1.00	1.6	178.00	100.0%	100.05
外食流透	8.76	15.0	158.01	0.00	0.00		1.70	15.42	158.0%	1.00	10.84	608.31	15.8%	70.3
林小他	5.86	3.15	61.31	- 6	0.00		1.00	3.15	61.2%	5.86	3.15	61.31	100.0%	100.05
4 #	****	****	0.43	****	****	42.00	****	648.10	97.85	****	****	****	17.43	24.33

|使実業な事業をで表現より<u>2.32歳間</u>(102.25 (kmo+bild.13 kmo+bild.13 kmo+bild.13 kmo+bild.13 kmo+bild.13 kmo+bild.25 kmo+bild.2

東北 2021年度4-3月 女品藤寮・リサイクル実装(各支店からの服务実装に基づく)

	9181	ONEX+IES	group Co.		物料量の公			Builties of		9	0-000 ED	Se .	198.69	279
	2000 E	2011年度 HSS	BIES	200年度 (-0.5	2011年度 (1985)	BIEST	200年度 (108	3DI専攻 小ATI	新華州	200年度 (10.5	201年度 HAR	BIEN	2008S	2011年度
48433	18.34	84.27	73.89	8.70	1.60	\$7.89	8.64	8.65	86.00	0	0.00		0.01	100
同単名文字	27.28	25.89	84.89	9	ě	•	89739	000.31	83.75	27.28	25.31	83.76	100.0%	100.01
T2197	****	49.16	46.00	9.79	6.29	2.72	26.92	22.76	97.85	27.22	25.31	22.75	72.25	74.55
							100	761,780	100					

			西 京事を収					医管线 器			
	75-1724	E9-00	99-703-89-7		B10000000		H-000/ED-C0	94	東京国際公司		
E#2.70 III 18 III 18 18 54 28 192 54 28 192 5	10 NOTES	T 8854	NOTE NAMED	81516	3031878	200	2015	2006	2015	2000	
	G12	10.25		10.35	33.96		=				H#3.70
2779 1181 281 1181 281 282 281 782 159 231 152 153	71.0	H 143.29	22	123.79	-	į	=	=	1		1

意志エリアウロ、製油業は選手により作業の自然の実力の需要を考察するも間関しました。若要な支援ではウサイウル電布がないため、金体のウサイウル電布がおいため、金体のウサイクル電布がおいたのできな構造を対しません。 ・企業を支援を大きな機能をは、19年間は1,1780ccm 1,070ccm 1,070ccm

関車第1 2021年度4-3月 食品施養・リサイクル実装(各支治からの提告実装に基づく)

	9121	ONE+in	(E) (F-50)		草根里から			imilian		9	1-00A (EP)	8	can-ta-	2/9
	2000年度 (-0.8	2011年度 HAR	inter	9000 FEE	ADDITED	Name of	2000 Fig.	1-131 2031年度	BEN	100年度	ADIEST ではま	index.	2000年度	知時度
******	28.31	25.18	10.00	8.30	1.00	16.39	21.01	23.88	114.10	11.73	23.86	201.69	55.85	100.01
	15.61	19.50	104		140	67.59	10.00		84.79	10.38	10.80		100.01	100.01

四半期ごとに、各拠点の

- ①抑制量(フードバンクや社内配布)
- ②食品廃棄物排出量
- ③リサイクル率

を報告

排出量が増えた拠点は、その原因

″ 減った拠点は、その原因

※リサイクル率も同様

を都度ヒアリングし、関係者間で共有

改善

参照

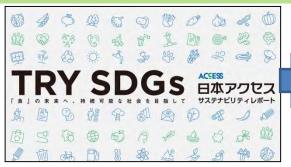
横展開

社外とのコミュニケーション その1



当社の食品ロス削減対策をステークホルダーの皆様にご理解いただけるよう、様々なコミュニケーション活動を行っています

フードロス対策紹介3分動画を作成



2020.12当社のフードロス削減活動を紹介する3分間の動画を作成し、公開しましたhttp://youtu.be/NWgG8pbDCXw

レジェンド賞受賞!



この動画が、農水省「サステナアワード2020」レジェンド賞を受賞しました

サステナビリティレポートで紹介



2021.12に発刊 したサステナビリ ティレポート2021 においても、食品 ロス対策について 紹介しています

農林水産省HPに掲載

ACSESS 日本アクセス

株式会社日本アクセス



日本アクセスは、1993年の5社合併を機に誕生し、それ以後も統合・合併を 経験し事業規模を拡大してきた会社であり、日本の食を支える食品総合卸とし て、全国各地のお客様へサステナブルに商品とサービスを提供し続けていま す。

また、日本アクセスは、社会の変化、生活者のニーズに応えていくため、 「卸売市場」「ロジスティクス市場」「製造・加工市場」の3つの市場分野に おける「ACCESS VALUE」の実現を通じて「卸売」の枠を超えた「卸」企業を 目指しています。

このたび、CSR活動とSDGS達成に向けた取組について、株式会社日本アク セスの広報・サステナビリティ推進部長・後上浩さん、生鮮・デリカ商品開発 部長・小野陽さん、ロジスティクス戦略至長・田中弘志さんにお話を伺いまし たので、その内容を紹介いたします。



写真左から ロジスティクス戦略室 田中 弘 生鮮・デリカ商品開発部 小野 隙 広報・サステナビリティ推進部 後上 浩

田中 弘志さん 小野 陽さん 後上 浩さん 「SDGs×食品 産業」に、インタ ビュー内容と、 17の目標の ページで取組を 紹介されました (2021.4.8)

農水省HP

消費者庁HPに掲載



2021.4 『食品ロス 削減の取 組事例』と して掲載されました

社外とのコミュニケーション その2



年2回開催される当社の展示会での内容や、自治体主催のイベントでの展示を紹介します

当社の展示会「Food Convention2022」で取組紹介



当社のSDGs活動を紹介するコーナー





ブースの来場者に エコ歯ブラシを配布

2022年7月に開催された展示会では、 SDGs活動のコーナーのみならず、通常の営業ブースでも様々な環境に良い取組を紹介しました



P15で紹介のストックキッチン



フローズンブースでのSDGsへの貢献提案

品川区消費者センター主催「エシカル消費イベント」に出展





2022年6月4日、品川区中小企業センターにおいて、品川区消費者センター主催の「エシカル消費イベント」が開催され、当社の食品ロス削減対策などのパネルを展示しました。

社外とのコミュニケーション その3



食品ロス対策の取組が外部から評価された例を紹介します

消費者庁「令和3年度食品ロス削減推進大賞」にて、内閣府特命大臣賞を受賞!

2021年10月、当社の全社を挙げた食品ロス削減活動が評価され、「食品ロス削減推進大賞」の最高賞となる【内閣府特命大臣(消費者及び食品安全)賞】を受賞しました。

受賞したテーマ

「サプライチェーンに拡げる「全社を挙げた」食品ロス削減活動」









10月30日、愛知県豊田市にて開催された食品ロス削減全国大会で授賞式が行われました

経済産業省「サプライチェーンイノベーション大賞 2021」 優秀賞・食品ロス削減特別賞を受賞!

2021年7月、当社の食品□ス削減策を含めた活動が、「サプライチェーンイノベーション大賞 2021」優秀賞・食品□ス削減特別賞を受賞しました

受賞したテーマ「全体最適化に向けた取組み」

-入荷時間の指定とパレタイズ納品-

-食品ロス削減策-



当社の食品ロス削減 4つのフェーズ

ACCESS 日本アクセス

当社では、食品ロス削減策を以下の4つのフェーズに分け、「自社で減らす」観点、川上の食品メーカーや川下の 小売業者、消費者などに削減してもらう「サプライチェーンに広げる観点」で課題を整理し、対策を行っています

PHASE1 ロスを出さない」

PHASE2

「売り切る」

それでも滞留した場合。

PHASE3

「配る」

売り切る見込みがなく なったら、「配る」

PHASE4

「リサイクル」

万策尽きてやむなく廃棄 ⇒できるだけ**「リサイクル**」



- ○適確な受発注:
- 需要予測精度向上、A I 導入

まずは「ロスを出さない

対策で、これが**最重要**

○コミュニケーション:

得意先、社内の営業、センター 間で協力

- ①「終売時」②「特売・販 促時」③「新規帳合化直 後に注意
- ○ネットの活用(当社 E C店舗等)

次は「売り切る」

○DS、売り先確保

留意点:①早めの対応、② 値引き回避(損失の最小 化)、③ブランド毀損回避

- ○フードバンク、子ども 食堂、その他福祉施 設等への寄贈
- ○社内配布

社会貢献の観点で実施

- 飼料化、肥料化、メ タン発酵
- 信頼できる業者に委託

契約書チェック、廃棄フローのシス テム化、委託先への事前訪問調 査、**適切な廃棄処理**を心掛ける

- サプライ チェーン こ広がる対策
- ○製・配・販の協力: 3分の1ルール・納品期限・過度 な欠品防止の緩和、予約販売

化、消費者への啓蒙

- ○商品面の対策:賞 味期限延長、年月表示/大括り 化、個包装化、包材改良、長 期保存可能商品の開発
- ○物流インフラの活用 得意先・メーカー側で使用 可能なインフラ提供
- ○得意先・関係者で 連携した寄贈の仕組 み構築
- ○リサイクルループ ベイシア様等とリサイクル ループを構築

具体的な取組



PHASE1「ロスを出さない」

-適確な受発注-

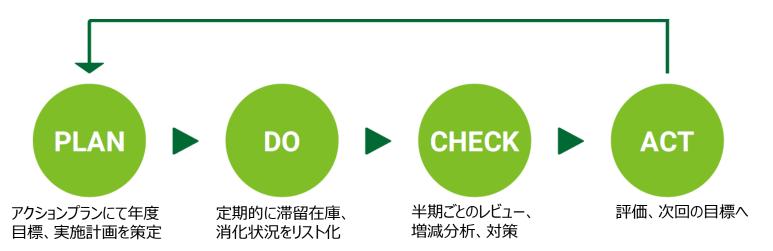




食品の滞留は①「終売時」②「特売・販促時」③「新規帳合化直後」の3つのケースで多く発生しています。 得意先、社内の営業、センター間でコミュニケーションを密にし、以下の対策で滞留化を防いでいます

発生ケース		 対策		自	得意先	
光王ゲース		为 束	センター	営業		
	①終売予定の	前広な連絡(営業⇒発注担	当者)	0	0	0
終売時	②(エリア	'毎等) 段階的・計画的な終売		0	0	0
		止の緩和、又は店舗在庫売り 急カット(得意先へのお願い)	り切り時	0	0	0
特売・販促時	④類似のケー	-ス等参考に、需要予測精度「	句上	0	0	0
新規帳合化直後	⑤過去の販売	青報提供依頼(得意先へのお	願い)	0	0	0

対策の実践にあたり、マネジメントツールとして**ISO14001を活用**し、継続的改善を行っています - 下記営業部門物流統括部署の事例 -

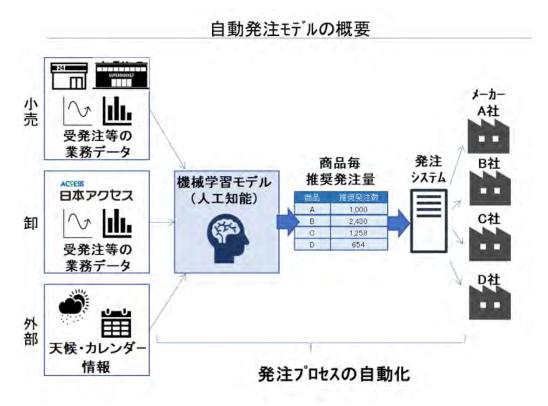


PHASE1「ロスを出さない」 AIソリューション導入



伊藤忠商事と連携し、A I を用いた需要予測・発注最適化のソリューション導入の取組を行っています

- ○小売の業務データ(在庫・売上・発注)と卸の業務データ(在庫・入出荷・商品毎の発注ロット)に加え、 天候データやカレンダー情報を入力値として人工知能(AI)の一種である機械学習モデルを構築
- ○メーカーが要求する発注ロット単位での推奨発注値を算出し、既存の発注システムにデータ転送



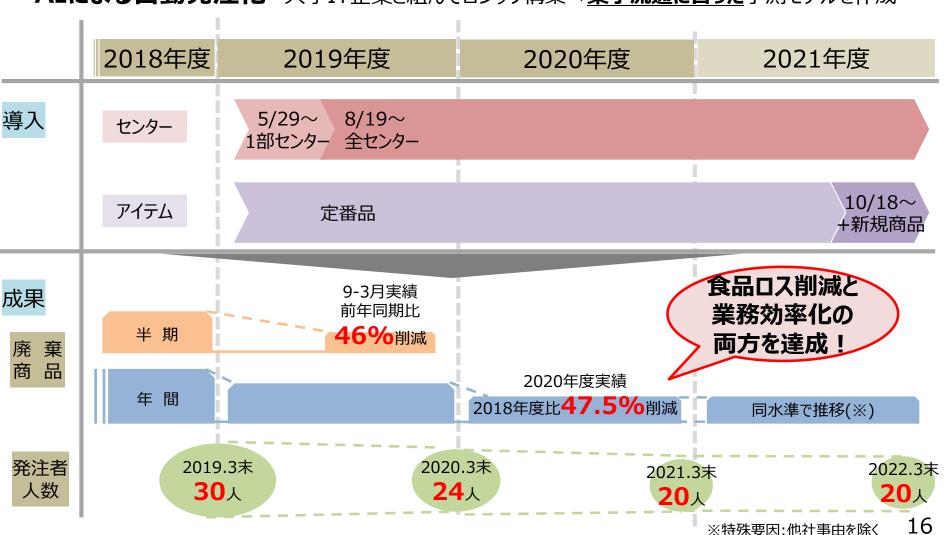
2021年度に対象商品の全てのアルゴリズム開発完了、対象の物流センターでAI発注化を開始、 2022年度に効果を検証予定

PHASE1「ロスを出さない」AIによる自動発注化-グループ会社の事例-【自社】

ロスを 出さない

グループ会社において、AIを使った自動発注化により食品ロスの大幅削減を実現しました。株式会社ドルチェ (CVS等向け菓子卸)の取組を紹介します

AIによる自動発注化 大手IT企業と組んでロジック構築⇒菓子流通に合った予測モデルを作成



PHASE1「ロスを出さない」-商品開発を通じた対策- 野乳 品級

サプライチェーン全体で食品ロスを減らす観点にて、得意先やメーカーと連携し商品開発を通じた対策を行ってい ます

発生ケース	対策	自社	得意先	メーカー
客先の食品廃棄	①冷凍食品の拡大	0	0	0
合元の良の焼果	②ミールキットの拡大	0		0
消費者の食品廃棄	③チャック付包材化、個包装化	0	0	0

- 冷凍ミールキット「ストックキッチン」(2019~)の展開 -

「ストックキッチン」の特徴

- ①「冷凍」で商品化・・・販売期間および賞味期間を長く設定でき、 流通上のロス、消費者側のロス削減
- ②食材が使い切りの仕様・・・調理後の端材が発生せず、消費者側 での食材廃棄削減
- ③ごみが少ないオールインワンタイプ

2021年3月には、環境に優しい大豆ミートを使用した 新シリーズ「ストックキッチングリーン」も追加



